

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう90

ホタルブクロ

分類 キキョウ科 ホタルブクロ属 (ぞく)

咲いている環境

- ・ 平地～山地の日当たりの良い草原
や林縁 (りんえん)

開花期

- ・ 5月下旬～7月

小鳥の森で見られる場所

- ・ 各小径沿い
・ かんさつ広場

つりがね形の花
(むらさき、白)いいむら おおすけ さん
(小学2年生)

6月

いきもの森予報

夏の花とチョウ

6月には夏の花が咲きはじめます。このころ小鳥の森で目立つのがオカトラノオ。漢字では「丘虎の尾」と書きます。小さな白い花をたくさんつけ、トラのしっぽのように見えることから、この名前がつきました。日当たりの良い草地や道に見られ、小鳥の森では、かんさつ広場やトンボ池などで見ることができます。

このオカトラノオにはヒョウモンチョウ類(ヒョウがらのチョウ)がよく訪れます。「トラ」と「ヒョウ」、

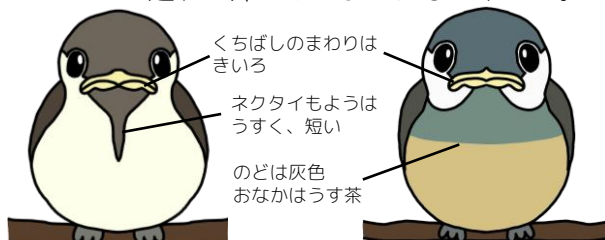
相性は悪そうですが、植物と昆虫の「トラ」と「ヒョウ」の相性はとても良いです。その姿を見にきてみてはいかがでしょうか。

オカトラノオにやってきた
ウラギンヒョウモン

巣立ちびな

5月～8月ごろにかけては野鳥の子育ての時期になります。このころによく見られるのが、「巣立ちびな」です。見た目は幼く、まだ上手に飛ぶことができません。一見、巣から落ちちゃったのかな? 迷子かな? と思うかもしれませんが、決してそういうわけではありません。親鳥から飛び方、エサのとり方、身の守り方を教えてもらう時期になります。

巣立ちびなを見つけたら、かわいそうだからといって、連れて帰らないようにして下さい。



シジウカラ 巣立ちびな

ヤマガラ 巣立ちびな

今年のキビタキ

今年のキビタキ、オオルリ、クロツグミなどの夏鳥の飛来は例年どおり4月中旬ごろとなりました。しかし、去年と比べて福島県の鳥である「キビタキ」の飛来数が多かったように思います。ネイチャーセンター周辺でも、キビタキのさえずりやオス同士のなわばり争いがよく観察されました。

県の鳥の名にふさわしく、今年の5月はたくさんのキビタキが見られました。来園者の方もキビタキを見る機会が多かった5月でした。



5月の昆虫

5月に入り、今までは卵、幼虫、さなぎだった虫たちが大人（成虫）になり活動を開始しました。

植物の葉の上にはテントウムシやハムシなどが見られるようになり、水辺ではシオヤトンボがなわばりをパトロールする姿も。また、ハルジオンやヤマツツジにはチョウ類がミツを吸いに集まっているのを観察できました。



コムスジ



クロアゲハ



トラフジミ

スタッフだより

みちしるべ

小径を歩いていると、地面からキラキラと緑色にかがやく虫が飛び出すときがあります。ニワハンミョウです。有名なナミハンミョウという種類は赤、青、緑にかがやく美しいハンミョウですが、ニワハンミョウの見た目は地味。しかし、羽を広げて飛ぶ時は、お腹の緑色がとてもきれいです。ハンミョウ類は、人が近づくと、飛び出して数メートル先に着地します。その行動をくりかえすことから、「みちしるべ」、「みちおしえ」と呼ばれます。地面から何か飛んだかな？と思ったら、地面を探してみるとハンミョウが見つかるかもしれませんよ。ただし、ハンミョウを追いかけて迷子には注意して下さい。（レンジャーますぶちしょうた）



出前講座のご案内

小鳥の森では、市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など色々な講座内容を用意しております。季節や人数、活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わせも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにてお申し込みください（※希望日に予約が入っていた場合、対応できないこともございますので、ご了承ください）。



出前講座のようす

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2019年6月号№401 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま